京都市中京区
壬生仙念町30-2
ラボール京都5F
TEL:813-2028
FAX:813-2048
kyoto-hyuman.u
@labor.or.jp

未組織・パート労働者の要求を実現！

誰かがヒューマンのリーフレットをロッカーにいれてくれていてここへかけてきた。

“以前は、仕事がたくさんあり、収入も多かった。今月は4万円ぐらい。

そこへ行政より交通費さかのぼって返金請求がおきた。所長も念を押してきた。

交通費は、基本、最短距離で申請。所長の了解も得て自分が日常的に使用する道で請求してきた。詳しい説明もなしに返金指示。怒りを感じる。

ただでさえ同一労働・同一賃金問題では矛盾を感じている毎日である。同じ様に仕事していてと、しみじみ思う。何とかならないか？　自治労連の組合あるが、役員の方と話してる間がない。時差勤務でもある。周りの人もおかしいといってくれている。

〈対応〉

行政の人にも、所長にも意見をはっきり言うようにアドバイスしました。

自治労連に相談したところ、「単組の意見もあるので、状況見ながら直接連絡とってもらう」ことになりました。

単組は執行委員会を開き、行政の意見も聞いて対応、はっきりと説明もせずに来ていることや、また本人の意見や話を十分に聞いていないことも指摘し、労基局　労働局のあることも知らす。

〈結論〉

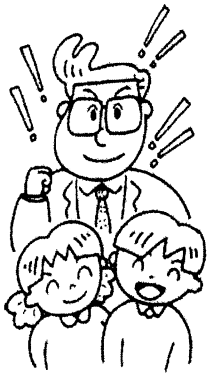
組合と行政と話し合う中でさかのぼって返金しなくてよくなる。ただし現時点から通勤距離については変更ということを了承。

非常勤の方におきたことを、本体組合が受け止め〈要求として〉行政とやり取りする中で、解決することが出来た。〈非常勤の方の要求が実現した。〉

後半他の非常勤の方にも返金要求が起きてくる中でのやり取りでもあった。

相談者は、このことで、組合にもヒューマンユニオンにも信頼を持ってくださり、“今後また相談よろしく”とさわやかな声でいっておられた。

一人でも入れる「こうむ・公共一般」があることを知らす。



投稿

ヒューマンユニオン相談員が事務局としてお手伝いしている「京都ヘルパー連絡会」へのお礼状です、日頃の努力が報われる内容、借用して“投稿”として掲載させていただきます。

皆様、お元気にお過ごしですか。

おかげさまで第20回にて介護福祉士合格しました。ありがとうございました。

受講に始まり、実技も京都駅近くで受けさせていただけ、模擬試験いたっては、無点の科目あり、心身ともに疲れ果てた時を経て、約半年かかった資格獲得。

いろいろと相談できたことが、とてもありがたかったです。今年も学習会など、日程さえ都合がつけば、是非うかがいたいと考えています。

“ひびき”(※)のケアマネ独り言欄、ムカデ退治の方法、とても参考になりました。

乱筆乱文、お許し下さい。ありがとうございました。

□※“ひびき”は、京都ヘルパー連絡会の機関紙です。□□

編集後記

▼漸く小泉詐欺のやり口に社会が気付き始めたようです。違法請負に名ばかり管理職。極めつけは「後期高齢者医療制度」郵政民営化選挙による虚構の多数で強行した自民、公明の責任は重大です。

▼前号から再刊です。事例記事を増やし、投稿のご協力も頂いて発行回数増図ります。

つぶやき

保育したよ　久しぶり

全国一般　生協パート労組よりヒューマンに声がかかりました。“保育要員探しているけどないかしら困っている”もう他に人を探す間がない“昔とった杵柄”で引き受けました。

呉竹センターの600人の団交会場　その横の小さいお部屋で保育しました。10人ぐらいの子どもたち。2歳から8歳まで。楽しかったです。久しぶりに感じる“保育を終えた後の充実感”とともに、聞こえてきたのは、団交で“賃金を向上させる回答”（ベースアップを勝ち取ったのは実に十一年ぶりとのこと）を得たという話でした。それの実現のための具体化大変でしょうが、私うれしかったです。

4・25　なかむら　ときこ